

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	村岡 強志議員	1 一人暮らしの高齢者への支援について	(1) 伊佐市において一人暮らしの高齢者の方々の人数と、その中で身寄りのない方はどのくらいいるか。 (2) 一人暮らしの高齢者の方々からの年間の相談件数と内容及び対応について伺う。 (3) 医療と介護の連携はどうなっているか。 (4) 一人暮らしの高齢者の方々への今後の対応及び支援策について、どう考えているか。 (5) 近年、ICT技術を活用した遠隔見守りサービスなどがあるが、このようなICT機器を活用したサービスの導入を検討できないか。 (6) 今後身寄りのないの方々への支援、対応策について、どのように考えているか。	市長	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	楠元 彩子議員	1 地方創生について	(1) 地方創生についてどう捉えているのか伺う。 (2) 地方創生伴走支援制度になぜ参加しなかったのか伺う。 (3) 今後、どのような事業計画を立てているか伺う。	市長	
		2 ふるさと納税について	(1) 令和6年度の実績を伺う。 (2) 新たな返礼品の商品開発を考えているか伺う。 ア 産官学で伊佐農林高校との新しい商品開発は考えられないか伺う。	市長	
		3 日本一の教育について	(1) あいさつ運動について伺う。 (2) 子どもの就学前までの生活習慣、食習慣について伺う。 (3) 就学前の子育て支援制度について伺う。 ア 病児保育、夜間保育、休日保育等について伺う。	市長 教育長	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	星野 元興議員	1 子ども第三の居場所について	<p>(1) 助成条件が、令和8年4月までに運用開始ということであった。進捗状況を示せ。</p> <p>(2) 「子ども第三の居場所」の対象者（対象年齢等）を示せ。</p> <p>(3) 「子ども第三の居場所」予定地は、各小学校区、特に大口小学校区から距離が離れている。通所方法をどのように考えているか。</p> <p>(4) 「子ども第三の居場所」利用対象年齢以降の者へのケアについてどのように考えているか。特に、高校生卒業年齢を過ぎた者へのケアをどのように考えるか伺う。</p>	市長	
		2 男性へのHPVワクチン接種助成について	<p>(1) 伊佐市におけるHPVワクチンの接種実績について、平成25年から令和4年1月までの伊佐市民接種件数は121件であったと報告された。その後の接種件数は何件か。</p> <p>(2) 全国的に男性へのHPVワクチン接種助成が広がっている。九州においても、宮崎市が令和7年度からHPVワクチンの男性接種費用を全額助成している。伊佐市の見解を示せ。</p>	市長	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	竹原 研二議員	1 ドラゴンボートレースについて	(1) 今年4月に行われた、いさドラゴンカップには県内外から何名ほどの来場者があったのか。 (2) このようなドラゴンボート大会は、他でも行われているのか。 (3) ドラゴンボート大会には、県大会から全国大会、国際大会まであるようだが、伊佐のチームは、どのレベルまで行ったことがあるのか。	教育長	
		2 ジビエの活用について	(1) ジビエをどのように活用していくのか。 (2) そのためにはどのような事業を行っていくのか。	市長	
		3 大阪・関西万博出展について	(1) メタバース地方創生プロジェクトとはどのような事業なのか。 (2) 大阪・関西万博に出展して、何か手ごたえはあったのか。	市長	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	畑中 香子議員	<p>1 市民の暮らしを守る緊急対策について</p> <p>2 庁舎建設について</p>	<p>(1) 賃金や年金は上がらない中で物価高騰や米の不足・価格上昇で市民の暮らしは困難を極めている。市民の現状を市長はどのように認識しているか。</p> <p>(2) 米どころとして知られる伊佐市で、米の不足や価格高騰で「何日もお米を口にしていない」「子どもに食べさせるため、親はご飯を食べていない」などの声がたくさんある。全世帯に米5kgを配布、農家など米がある世帯には商品券配布などの緊急の施策を行うべきではないか。</p> <p>(3) 年金生活者給付金や要介護3～5の特別障害者手当の受給漏れがないか、調査と申請手続きの促進を行うべきではないか。</p> <p>(4) 困窮する市民の命綱となる生活保護制度の周知と制度の適正な運用について</p> <p>(1) ふれあいセンターの解体工事について、アスベスト除去工事が行われた部分は何㎡か。工事・運搬が行われた日時と総重量は。</p> <p>(2) アトリウムの解体費用とアスベスト除去費用は。</p> <p>(3) アスベストによる健康被害の概要と、それらの健康被害が起きないための対策をとるなど除去工事が適切に行われたかどうか伺う。</p> <p>(4) 庁舎建設係による建築工事状況の確認はどのように行っているのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	畑中 香子議員	<p>3 市長の政治姿勢について</p> <p>4 介護保険制度について</p>	<p>(1) 本年4月11日の市長のスケジュールについて、建設業組合のゴルフコンペ参加があったかどうか伺う。</p> <p>(2) 国家公務員倫理規程第3条第1項第7号について説明を求める。</p> <p>(3) 法律、規範に抵触する行為がなかったかどうか伺う。</p> <p>(4) 市民に不信感を与える行為がなかったか伺う。</p> <p>(1) 政府が訪問介護報酬を引き下げ、全国的に訪問介護事業所は危機的状況との声が上がっている。本市の事業所の状況について伺う。</p> <p>(2) 新潟県村上市で行っているような支援策を本市でも行うため、準備基金の活用を行うべきではないか。</p> <p>(3) 全国的に介護人材不足が叫ばれている中、本市においては介護人材確保のためにどのような取組がなされているのか。</p> <p>(4) さつま町の「訪問型サービスD」の仕組みを取り入れられないか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	岩元 努議員	1 県道407号針持永野線の道路改良について	<p>(1) これまでの行政対応と現状認識について ア 2017年および2019年の質問以降、市として本路線の改良に向けてどのような対応を行ってきたのか。また、県やさつま町との協議・調整の進捗状況について、現時点でどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 道路期成会の立ち上げについて ア 地元住民による要望の声を受けて、今後、市が主導する形で期成会の設立を後押しすべきではないか。また、期成会設立が進まない理由をどのように分析しているか。今後の打開策はあるのか。</p> <p>(3) 住民への情報提供と説明責任について ア 長年の停滞が続く中、地元住民に対する説明や情報提供が極めて乏しい。少なくとも定期的な説明会の開催や文書による進捗報告など、住民との信頼関係を築く対応が必要ではないか。</p> <p>(4) 段階的整備・小規模改良の実施可能性について ア 全面的な拡幅改良が困難な状況であっても、まずはカーブカットや待避所の整備など、限定的かつ段階的な対応から着手できないか。</p> <p>(5) 行政間連携の強化について ア 本路線の改良には、伊佐市とさつま町、さらには県との連携が不可欠である。これまでの議会間交流の枠を超え、行政主導による合同協議や現地視察の定例会など、温度差を埋める努力が必要ではないか。</p>	市長	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	岩元 努議員	2 自転車乗車時のヘルメット着用の努力義務化について	<p>(6) 国防施設整備に伴う安全対策との関連性について</p> <p>ア 近年、隣接するさつま町において自衛隊の弾薬庫整備が進められるとの報道がある。仮に有事や事故等が発生した場合、本市にも一定の影響が及ぶ可能性を否定できない。このような背景を踏まえ、広域的な避難経路や安全確保の観点からも、この県道の整備は重要性を増していると考え。市として、住民の安全対策や国・県に対する具体的な要望をどのように整理し、発信していくのか見解を伺う。</p> <p>(1) 背景と現状の確認</p> <p>ア 令和5年4月から、全ての自転車利用者に対し、ヘルメット着用在が努力義務となったことについて、市としてどのように認識しているか。また、ヘルメット着用の重要性について、市民への周知はどのように行っているか(学校、広報紙、防災・交通安全イベント等)。</p> <p>(2) 市内の実態・現状把握</p> <p>ア 伊佐市内における児童・生徒や高齢者等におけるヘルメット着用状況について、現時点で市はどのように把握しているか。また、自転車に関連した事故の発生状況について、直近の件数や傾向などを把握しているのか。</p> <p>(3) 導入自治体の先進事例と比較</p> <p>ア 鹿児島県内では、出水市、霧島市や志布志市などで「ヘルメット購入費の1/2補助」などの制度が始まっている。こうした動きをどう認識しているか。また、導入自治体の制度を参考に、伊佐市でも同様の支援制度の導入を検討する考えはあるのか。</p>	市長 教育長	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	岩元 努議員	3 第2期伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)について	<p>(4) 支援制度導入の可能性と今後の方針</p> <p>ア ヘルメット購入補助制度の導入にあたっては、対象を子どもや高齢者などの重点層に絞った段階的支援とすることも考えられる。予算確保を含め、制度導入の可能性について、市としての見解を伺う。</p> <p>イ 今後、市内でのヘルメット着用率の向上に向けた啓発、支援の取組方針はあるか。</p> <p>(1) 第3章取組方針と具体的な施策／取組方針2「都市部とのつながりを築き、伊佐への新しいひとの流れをつくる」(4)都市部とのつながりの構築について</p> <p>ア 「都市部とのつながり構築」について、今回の改訂における新規性や強化された重点施策は具体的に何か。これまでの成果や反省をどう踏まえているのか。</p> <p>イ 関東伊佐会など都市部における伊佐出身者の団体とより密接な連携を図るため、どのような支援や施策が想定されているか。特に高齢化が進む中で、若年層加入を促す仕掛けが必要ではないか。</p> <p>ウ 都道府県会館・鹿児島県東京事務所での研修では、鹿児島ブランドショップ「遊楽館」の積極活用の必要性も示唆された。地元産品を都市部で効果的に発信するため、こうした既存インフラとの連携をどう位置づけているか。</p> <p>エ 「新しいひとの流れ」とは具体的にどういったターゲット層(Ｕターン・Ｉターン・関係人口など)を想定し、その施策は、伊佐会や、都市部での伊佐のPR活動とどのように連動していくのか。</p>	市長	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	武本 進一議員	<p>1 野良猫を減らす対策について</p> <p>2 災害時におけるペットとの避難について</p>	<p>(1) 公益財団法人どうぶつ基金が配付する、さくらねこ無料不妊手術チケットについて ア 現在までの無料不妊手術チケットの実績を伺う。 イ 多頭飼育による現状を伺う。</p> <p>(2) 野良猫について ア 市民からどのような声があがってきているか。具体的に伺う。 イ 野良猫は減ってきているか。現状について伺う。 ウ 早く改善しなければ野良猫はどんどん増えていく。猫が好きでない人にとってもそれは避けたいと思われるが、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 公益財団法人どうぶつ基金と行政との協働事業である、一斉 TNR（猫を捕獲して、避妊・去勢手術を行い、元に戻すこと。）をすれば、この問題を大きく改善することができる。この取組を開始されてはどうか。</p> <p>(4) 野良猫を減らす取組について市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 車を持たない方などがペットとの避難をためらっている場合 ア 避難所に一緒に行くことが出来ない場合の対策を伺う。 イ 対応についてどのように周知をされるか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	小田原 宏議員	<p>1 伊佐市と各事業所・団体間との災害協定について</p> <p>2 各種災害・火災・行方不明者捜索時における指揮系統について</p>	<p>(1) 伊佐市と災害協定を結んでいる事業所・団体の数を示せ。</p> <p>(2) 結んでいる協定の内容について ア どのような内容の協定か(数が多い場合は、代表的なものを示せ)。 イ その協定は現在も有効か。</p> <p>(3) 協定締結先の事業所や団体が、これまで実際に災害現場で協定内容を実践した事例はあるか伺う。</p> <p>(4) 協定締結後に災害現場での実践事例がない場合、各協定締結先と伊佐市・関係機関・市民も交えた横断的かつ実務的な災害訓練等や講演会等の勉強会を実施できないか。</p> <p>(1) 災害時(地震災害・豪雨災害等)・火災(建物火災・林野火災等)・行方不明者捜索など、これらの事態が発生した場合に、現場を指揮するための指揮系統マニュアルが存在するのか伺う。</p> <p>(2) 指揮系統マニュアルが無い場合、事態ごとのシミュレーションを行った上でマニュアルを作成し、訓練や現場経験を重ねるごとに更新していく必要があると考える。また、指揮系統マニュアルがある場合においても、同じように更新していく必要があると考えるが、マニュアルの作成計画・更新について現状どのような運用を行っているのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	小田原 宏議員	3 防災サイレンの時報について	<p>(1) 新しく導入された防災サイレンの時報のメロディについて、日本の童謡・民謡・歌謡曲等のメロディにしてほしいという声が大変多い。そこで以下の点について伺う。</p> <p>ア 現在は、特定の時間に外国の童謡が流れているが、この曲目の変更は出来ないのか。</p> <p>イ 防災サイレンにプリセットされている曲目のうち、日本の楽曲は何曲ほどあるのか。また曲名も示せ。</p> <p>ウ 防災サイレンにプリセットされていない楽曲を流すことは可能なのか伺う。</p>	市長	

令和7年第2回定例会一般質問

令和7年6月9日・10日

(13枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	庵下 信一議員	<p>1 菱刈庁舎で行う業務と人員配置の検討状況について</p> <p>2 菱刈庁舎を支所に位置付ける条例の制定について</p>	<p>(1) 菱刈庁舎で行う業務と人員配置の検討状況について</p> <p>(2) 菱刈庁舎で行う業務と人員配置の決定時期について</p> <p>(1) 菱刈庁舎を支所とする条例の検討状況について</p> <p>(2) 菱刈庁舎を支所とする条例の制定時期について</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	